

授業科目 生活援助技術VI

【担当教員名】 宮下 榮子	対象学年	3	対象学科	社会（介護コース必修選択）
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30時間

【概要・一般目標：G10】

- ・自立に向けた睡眠の意義と目的を理解し、安眠のための介護の工夫を身に付ける。
- ・尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を個々の感性、人間観、共感を土台に考えを深め、より倫理性高い介護観を構築し、技術に習熟し専門職としての介護能力を身に付ける。

【学習目標・行動目標：SBO】

- ・睡眠の意義と目的を理解し、安眠のための介護の工夫を実践できる。
- ・「生」と「死」の意義について考えることができる。・「死」そ生物学的変化について理解できる。・倫理的に「死」を考えることができる。・「死」を社会背景、社会関係、人間関係の中で捉えることができる。・「終末期」の支援に敬意と誠意をもって臨むことができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	睡眠の意義と目的		
2	睡眠に関する利用者のアセスメント		
3	安眠のための介護・不眠時の対応		
4	利用者の状態・状況に応じた安眠への留意点		
5	「死」とは・人生の意義と役割		
6	〃		
7	「死」と社会・社会保障		
8	〃		
9	介護施設における「終末期介護」		
10	〃		
11	地域・在宅における「終末期介護」		
12	「死」の病態変化の観察と記録		
13	「終末期」の心理とケア・緩和ケアと悲嘆のケア		
14	「終末期介護」のチームケア・死後の対応		
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 筆記試験・レポート・出席状況の総合評価	【履修上の留意点】
-------------------------------	-----------